



第72号  
発行所  
秋田市山王7-1-2

更生保護法人  
秋田県更生保護援護協会  
(編集)  
秋田県更生保護編集委員会  
(題字)  
小熊良悦  
(印刷)  
(株)アクティス

令和2年8月1日現在  
保護司数 658名

目次

巻頭言.....	1	秋田保護観察所.....	4
更生保護関係団体の動き		秋田保護観察所の人事異動.....	4
秋田県更生保護援護協会.....	2	転入者のあいさつ.....	4
秋田県保護司会連合会.....	2	更生保護ボランティア・メッセージプロジェクト参加者募集中!.....	5
秋田県更生保護70年史発行!.....	2	第70回「社会を明るくする運動」について.....	6
秋田至仁会.....	3	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた対応について.....	6
秋田県更生保護女性連盟.....	3	一筆啓上.....	7
秋田県BBS連盟.....	3	栄誉に輝く叙勲・褒章.....	8
秋田県就労支援事業者機構.....	4	保護司の異動.....	8
		編集後記.....	8

本年六月一日付けで秋田地方検察庁検事正を拝命しました。秋田県での勤務は初めてですが、少しでも良好な治安に尽力したいと考えていますので、よろしくお願ひします。

日本の刑事司法のシステムは、警察、検察、裁判、矯正、更生保護という一連の過程によって構成されています。その中での検察の役割は、刑事事件の真相を解明し、適正に処分することにあるわけですが、平成二三年に策定されました「検察の理念」には、「犯罪の防止や罪を犯した者の更生等の刑事政策の目的に寄与する」と定められています。そのため、秋田地方検察庁では、平成二七年、罪を犯した高齢者・障害者等の円滑な社会復帰及び再犯の防止に向けた関係機関との調整を行うため、「社会復帰支援室」を設置（現在は機能を強化して「刑事政策推進室」に改組）し、関係機関と連携して再犯防止などに取り組んでいます。

講釈師の一龍斎貞花氏が「更生保護の父・金原明善」という講演を演じているのを聴き、明治期に静岡県で更生保護事業に携わった先駆者がいたことを知り、いたく感動したことがあります。

今回、秋田に着任するに際し、法務総合研究所が発行している「研修」誌に数代前の秋田地方検察庁検事正が寄稿した「三種ミュージカル」と題するエッセイを読みましたが、その中で川村養助氏のことが紹介されており、同じ明治期に秋田にも更生保護事業の先駆者がいたことを知りました。着任後に早速DVDで川村養助氏を主人公とした三種ミュージカルを視聴したところ、地域の多くの方が携わり、しかも県内外からたくさんの方が来場しているのを目にし、秋田県において更生保護の理解が広がっているのを感じ、大変心強く思いました。

今後も更生保護の原点を意識しつつ、秋田地方検察庁において、更生保護に携わっているみなさまと十分に連携しながら、再犯防止に向けた諸施策を進めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



更生保護の先駆者に学ぶ

秋田地方検察庁検事正 小橋常和



更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

★理事会・評議員会(書面議決)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、今回の会議は全て書面議決といたしました。なお、令和元年度事業成績・収支決算については承認されました。

★役員について

(再任) (令和2年4月1日付)

- 理事長 小畑 悟
副理事長 村岡 兼幸
同 沢木 則明
常務理事 加賀谷文秋

★評議員の異動

(新任) 千葉 恵美(辞任) 桑原 利光
(令和2年6月15日付)

令和元年度 秋田県更生保護援護協会収支決算
(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

収入総額 8,330,752円 支出総額 7,846,597円

収入の部

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 決算額. Rows include 補助金等収入, 寄附金収入, 財産収入, 会費収入, 雑収入, 合計.

支出の部

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 決算額. Rows include 一時保護事業, 連絡助成事業, 管理費, 予備費, 合計.

令和2年度事業計画書(抄)

運営に関する事項

1 近年の経済・雇用情勢等に対応して、安全で安心して暮らせる社会の実現に寄与するために、広く県民に対して更生保護事業への理解・促進を図り、関係機関等との緊密な連携をもとに効果的な更生保護事業及び犯罪予防を推進する。
2 県内における更生保護事業の効果的かつ積極的推進を図るため、本協会役員・評議員及び事務局が一体となって、寄付金や賛助会費の発掘と維持及び安定した財源の確保に努め、更生保護団体等との連携を強化し、今日の更生保護に対するニーズに適切に答えられるようにする。

篤志者寄附金の御芳名

令和2年1月以降にご寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚くお礼申し上げます。

一金 三十万円

ユアモバイルサービス 小畑 悟様
秋田銀行様

一金 二十万円

村岡 兼幸様 沢木 則明様
加賀谷文秋様 細谷 重直様
辻 良之様 斉藤 満様
小熊 良悦様 布谷 博様
田口 昭一様 宮原 文彌様
大内 睦子様 和田 仁様
尾形 和雄様 清水 重輝様
田代 苑子様 柳沢 和子様

一金 十万円

八島 國雄様

一金 三万円

曹洞宗保護司会秋田県支部様

\*当協会運営に対しましてご寄附を戴きました皆様、また普通会员・賛助会員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

秋田県保護司会連合会

令和2年度事業計画書(抄)

基本計画

当連合会は、秋田保護観察所及び各地区保護司会との緊密な連携のもとに、保護観察の充実強化や保護司の研さんの向上に努める。また、県内の犯罪予防活動等が効果的に行われるよう、調整に努め、かつ関係団体とも関係をより一層密にし、更生保護事業の推進に努める。

「秋田県更生保護七十年史」発行!

平成30年度に編集委員会を充足し、約1年半をかけた無事に更生保護制度施行七十周年記念史を発行することができました。関係各位の皆様にはお忙しいところ玉稿をお寄せいただき感謝申し上げます。編集会議を重ね、この10年間の活動等を編集・編纂しました。また、若干の残部がありますので、ご希望の方は、秋田県保護司会連合会事務局までお問い合わせ下さい。

(常務理事 新野建臣)



# 第53回 秋田県更生保護大会について

11月19日に開催予定の同大会ですが、  
新型コロナウイルス感染防止のため  
**中止**といたします。

★更生保護法人全国保護司連盟  
理事長 交代

(令和2年3月1日付)  
野沢 太三↓谷垣 禎一

★東北地方保護司連盟会長交代

(令和2年6月1日付)  
佐藤 達郎↓疋田 正應

## 秋田至仁会

### 関係機関との連携について

当施設の本年六月末日現在の収容人員は、一七一人(収容率八五%)であるが、このうち特別調整の高齢対象者が二人おり、軽度の知的障害が疑われ、医療ニーズも高い状態にある。この二人に対しては、秋田県地域生活定着支援センター(以下、定着支援センター)をはじめ、関係機関と連携しながら福祉施設等を最終的な帰住先として調整している。しかし、認知症の症状が疑われるほか、新たな病状等の課題も浮上し、退所先確保の調整に困難をきたしている。

従来、更生保護施設の入所者に対しては、就労による自立更生を目指すよう指導しており、就労の可能性が低い高齢者や障害者の受入れは消極的になりやすく、社会福祉との連携の在り方に課題が見えてきている。

現状において、更生保護施設は特別調整対象者の一時的な受入先として不可欠な施設となっており、入所後に生甲斐を見出させるような処遇上の配慮も必要になってきている。また、定着支援センターにおいては、更生保護施設入所前から退所に向けた調整計画や退所後の生活計画等を具体化していくことが求められる。一方、出所先である刑事施設からの医療情報不足していることから、福祉機関のみならず刑事施設との連携において、個人情報共有するための合意形成が必要と思われる。

## 秋田県更生保護女性連盟

会員数 令和二年四月一日現在  
二十四地区 一、七九四人

### ★秋田県更生保護女性連盟総会

五月二十日秋田ビューホテルにて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大し終息の兆しが見えない状況であり、また法務省保護局からの会議等に係る留意事項等も踏まえ、役員会を経て総会は中止と致しました。

その後、緊急事態宣言は解除されましたが、感染症対策を講じつつ、秋田保護観察所、関係機関のご指導、ご理解、ご協力を頂きながら「広がり、つながる 未来の輪」を心に更女活動を今年度も推進して参ります。

### ★五十七回「日本更生保護女性の集い」

六月九日、東京有楽町朝日ホールにおいて全国各地より会員が集い盛大に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態のため中止になりましたが次の方々が今年度表彰されました。

#### ・法務大臣感謝状

(大) 館 能登谷清恵  
・日本更生保護女性連盟会長表彰

(湖) 東 新野 道  
(美) 郷 藤谷 純子  
(北秋田) 小坂 浩子

#### ★今後の主な行事

- ◎東北地方更生保護女性会員研修会 九月十日〜十一日(青森)中止
- ◎日本更生保護女性会員中央研修 十月二十日〜二十二日(東京)
- ◎秋田県更生保護女性会員研修会 十二月上旬(秋田)
- ◎日本更生保護女性会員組織強化研修 十二月(東京)

新型コロナウイルスの早期終息、いつも通り活動できる日が早く来る事、皆様のご健康を祈念申し上げます。

## 秋田県BBS連盟

新型コロナウイルスの影響で、今年度は東北地連の理事会、全国の総会、東北地方の大会など、上半期に予定されていた事業はすべて中止となりました。「少年たちと接すること」が最も必要とされる地区会の活動にも大きな影響を与えています。

百年に一度の感染症が大きく世の中を狂わせています。中国で新型コロナウイルスが流行しているようだという話が聞こえてきたのはわずか半年前。その頃、このように世の中が変わってしまうことを何人が予想していたでしょうか。人生何が起るかわからないとよく言われますが、本当に世界中の人々の人生が想像もしない方向に動いています。

さて、コロナ禍のさなか、九州や中部地方を中心に発生した令和二年七月集中豪雨が各地に被害をもたらしました。多くの人が命を失い、浸水や土砂災害に今も苦しんでいます。コロナという緊急事態であっても災害はお構いなしで襲ってきますから、その備えはきちんとしておかなければなりません。

私たちの更生保護活動も同じなのではないでしょうか。総会ははじめ例年の行事を執り行うことができない状況であっても、友だち活動が必要とする少年や話し相手、支えとなつてほしい子どもたちがいつ現れるかわかりませんが、日頃の活動が制限されている中でも、私たちが必要とされた時にはすぐに対応できるように準備を整えておきたいと考えています。一日も早いコロナの収束と少年たちの健やかな成長を願い、結びの言葉といたします。

### 秋田県就労支援事業者機構

平素から、当機構の活動に対し、御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当機構の令和2年度通常総会につきましても、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、書面表決での開催となりました。

総会では、令和元年度事業報告及び収支決算、理事の選任について御審議いただき、いずれも承認されました。

新たに柳沢和子氏(秋田県保護司会連合会会長)が理事に選任されました。

本年度も保護観察対象者をはじめとする刑務所出所者等への就労機会の提供に努めるとともに、協力雇用主の更なる開拓、そして、フォローアップに努めて参りたいと考えておりますので、引き続き、当機構の活動への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ★保護司の皆様へお願い

前歴等の事情を承知の上で保護観察対象者を雇用中の事業主の方や、刑務所等からの出所後に、生活環境調整対象者の雇用を予定している事業主の方を御存知ではありませんか。

審査はありますが、協力雇用主に御登録いただくと、身元保証制度や就労奨励金などの就労支援メニューが利用できますので、事業主の方にとつてもメリットがあります。

実際に働く対象者本人や引受人・保護者の同意が得ることができれば、保護観察所の担当職員が事業主の方のもとを訪問し、協力

雇用主や就労支援メニューについての御説明をさせていただきます。適切なケースがありましたら、ぜひ、主任官または保護観察所就労支援担当へ御一報いただきますようお願い申し上げます。就労先を確保することは、再犯防止に向けた貴重な一歩になります。皆様からの情報提供をお待ちしております。

### 秋田保護観察所

#### 「緊急行動宣言を踏まえた保護司適任者確保の推進」

全国の保護司数は、令和2年1月1日現在で約40年ぶりに4万7千人を下回りました。保護司確保のために、これまで保護司候補者検討協議会や保護司活動インターンシップを始めとした各種施策等更生保護官署及び保護司組織が一体となって取り組んできましたが、保護司の減少に歯止めがかからず、今後10年間で5割近い保護司が退任の時期を迎えることとなります。

秋田県内の保護司数の現状をみましても、ここ数年650人台から660人台の範囲で推移しています。が、本年度を含め向こう10年間で現員のはほぼ半数となる330人が年齢基準により退任されます。

全国保護司連盟及び法務省保護局においては、令和2年2月27日「保護司の適任者確保のための緊急行動宣言」を発し、同年3月12日には緊急対策本部が設置されました。さらに東北地方対策本部及び県対策本部を置

き、地区保護司会における対策チームを設置するなどして保護司の適任者確保に向けて計画的かつ積極的な取組が求められています。秋田保護観察所においては、保護司の適任者確保のための緊急宣言を踏まえ対策本部の取組方針及び保護司確保重点地区実施計画に基づきながら、さらに官と民が一丸となり、保護司の適任者確保の取組を強化してまいりたいと思います。引き続きの御理解御協力をよろしくお願い申し上げます。

### 秋田保護観察所の人事異動(令和2年4月1日付)

#### ●転入

統括保護観察官  
高橋 毅

保護観察官  
青森 毅 主任保護観察官

保護観察官  
藤原 淳哉

保護観察官  
仙台 保 保護観察官

保護観察官・会計係長  
藤原 佑史

保護観察官・会計係長  
東北地方更生保護委員会事務局総務課 会計係長

●転出

久野 昌美(企画調整課長)

(福島 企画調整課長)

柿崎 敦(主任保護観察官)

(青森 主任保護観察官)

高橋 典花(庶務係)

(東北地方更生保護委員会事務局総務課 会計係)

●内部異動

企画調整課長

島山 清寿(統括保護観察官)

保護観察官

進藤ちづる(会計係長)

### ●転入者のあいさつ



統括保護観察官  
高橋 毅

令和2年春の異動により青森保護観察所から転勤して参りましたが、秋田での勤務は2回目となりますが、秋田を離れていた期間が1年であり、懐かしいというより、ずっと秋田で勤務しているような気がしております。

さて、新型コロナウイルスの影響から閉塞感が漂っています。第2波・第3波も心配されますが、再び秋田で勤務できることを素直に喜び、微力ではありますが、秋田の更生保護のために精一杯頑張りたいと思っております。今後とも御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。



保護観察官  
藤原 淳哉

春の人事異動で仙台保護観察所から転任してまいりました。秋田保護観察所での勤務は5年ぶり3度目となり、振り返ってみますと特に新規採用や保護観察官

1年目という大事な時期で大きな不安を抱える中、秋田県内の更生保護関係機関団体の皆様に温かく御指導御支援をいただいたことに深く感謝しております。

何かと御迷惑をおかけすることもあると思いますが、微力ながら努力して参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



保護観察官・会計係長  
藤原 佑史

この春の人事異動により、東北地方更生保護委員会から異動してまいりました。秋田保護観察所での勤務は7年ぶりのことで、以前勤務していた時の役割は会計係長でしたが、今回も同じく会計係長の仕事をさせていただくことになりました。

以前と同じ職場で、以前と同じ役に就くことになりましたが、世の中の状況は7年前とは大きく異なり、「新たな生活様式」が求められる世の中になりました。

このような状況下において、私自身も新鮮な気持ちで業務に励みたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

**更生保護ボランティア  
メッセージプロジェクト  
参加者募集中!**

2020年、法務省保護局では、更生保護を国内外にアピールするため、SNS（ツイッター、インスタグラム）を活用して更生保護ボランティアを広くPRしています。フリップに手書きのメッセージを書いて、熱い想いを

伝えませんか？  
メッセージのテーマは、「更生保護ボランティアのやりがい」「更生保護活動で大事にしている言葉」「犯罪や非行から立ち直ろうとしている人たちへの応援」「対象者や家族から言われて嬉しかった一言」「更生保護ボランティアになろうとしている人」「更生保護を一言で」からお選びください。

秋田保護観察所では、一言メッセージを書いた更生保護ボランティアの写真を募集しています。詳細については企画調整課へお問合せください。



**Instagram投稿イメージ**



- アップする写真は、「更生保護ボランティアのやりがい」等のメッセージを書いたフリップを持って撮影したもの。
- 撮影は、ご当地の魅力ある場所で行い、どこで撮影したのかが伝わるようにする工夫を！

- フリップには一言メッセージのみ。文字は手書きで、大きな文字ではっきりと書いてください。

- #（ハッシュタグ）をたくさんつければ、検索にひっきりやすくなります。
- “更生保護ボランティア”に関するワードだけでなく、その撮影地にまつわるものなど、広くハッシュタグを付けると拡散効果は拡大！

いいね! : jovaniquadros、他  
# 更生保護ボランティアメッセージプロジェクト  
# 更生保護ボランティアのやりがい  
# BBS  
# OO公園



- フリップを持った写真が先頭に。フリックするとそれ以外の写真が展開します。

# 第70回 “社会を明るくする運動”について

昭和24年7月に始まった「社会を明るくする運動」は、本年で第70回という節目を迎えました。例年5月に開催している「社会を明るくする運動」秋田県推進委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。構成機関・団体が一同に介することは叶いませんでしたが、事務局から第70回の活動方針・計画について案をお示ししたところ、多数の御承認をいただき、要綱等について策定することが出来ました。

例年通りの活動が難しい状況ですが、感染症には十分注意しつつ、皆様のお知恵とお力を拝借しながら、今、出来ることに地道に取り組んでいきます。皆様におかれましても、強調月間の7月に拘らず、年間を通して本活動を推進していただければ幸いです。



子供達に大人気!  
「更生ペンギンのホゴちゃん」も、早速活躍しています!  
ペンギンなのに水が嫌いなホゴちゃんですが、県内どこにでも出張いたします(要交通費)。  
「うちのPRも手伝ってほしい♡」という方は、秋田県保護司会連合会事務局までご相談ください。

## 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた対応について

各更生保護関係団体の皆様には、新型コロナウイルスの影響により特に年度当初における関係団体の総会では書面表決、また、社会を明るくする運動(7月中)では非接触型による広報活動に切り替えていただくなど例年どおりの諸活動とはいかず苦慮されていることと思っておりますが、感染拡大防止対策への御協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染状況に伴う対応方針は随時変化しているところです。秋田保護観察所では、法務省保護局等の対応方針、当庁の実情及び地域の感染状況等を勘案した上で各更生保護団体の皆様には、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた留意事項についてお知らせしているところです。

特に事件担当保護司には、一時期対象者等との面接を延期し電話等による接触とし、6月1日から通常面接をお願いしているところです。

なお、対象者等との面接時の留意事項として、発熱等のある場合は面接をしない、手洗い、マスク着用、消毒、換気、ソーシャルディスタンスなど。また、会議等の開催につきましては、会議等の規模・参加者の範囲等を考慮しながら、三密を回避する措置が求められ、目安として屋内収容率50%以内(十分な間隔2m)とした基本的な考え方が示されるなど、感染防止対策に努めていただいております。

今後の感染拡大も懸念されるなど収束に予測のつかない状況となっております。当庁においては、今後も法務省保護局等の新型コロナウイルス感染状況の対応方針等に変化が生じた際、必要に応じて各更生保護関係団体の皆様にお知らせしたいと思います。引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら熱中症予防を講じていただきますよう御理解御協力をよろしくお願いいたします。

一筆啓上

「地域との連携いきいきサロンに参加して」

横手地区更生保護女性の会

会長 大和谷道子

地域との連携・協働活動推進地区の指定を受け、横手社会福祉協議会に相談に行き、いきいきサロンにお邪魔することにしました。

更生保護についての広報をし、カルタとりや絵合わせゲームを行い、最後にお抹茶を飲んでいただきながら情報交換するという日程で四つのサロンで実施しました。



カルタとり

いきいきサロンは町内単位の規模で、高齢者が会館等に集まりお話しを聞いたり運動したり、おしゃべりをして交流し、孤立化を防ぐのが大きな目的のようです。年々結成される数が増え、今では市内に百四十三のサロンがあるそうです。核家族化が進み、農村部でさえ多世帯同居の数は減ってきています。昼間、仕事でいない若い世代に代わって、高齢者が地域の安全・子どもへの目配りを担ってくれると意気込んでも始まりましたが、お話しいない町内があつたり、子ども高年齢化を目的に当たりにすることが多々ありました。そのなか

で、若い世代と交流し一緒に活動しているというサロンもあり頼もしく思ってきました。

サロンは年十回程度開かれていますが、その中に更女との交流を入れてもらえたことは嬉しい限りであり、一度聞いただけでは覚えてもらえないような会の名前や活動状況でもまた来て欲しいなどと言われると会員やる気になっていきます。

別の会合の折に、更生保護女性会という名前が覚えにくいので愛称を考えてみたら？といわれたことを思い出しました。

「退任保護司座談会」に出席して



北秋田保護区 佐藤 進一

六月二十六日、アキタパークホテルにおいて退任保護司感謝状伝達式が行われ、秋田保護観察所長からは法務大臣感謝状、秋田県保護司会連合会長からは功労の章と身に余る労いのお言葉を添え伝達を賜り、六名の参加者一同感激致しました。今回の退任者は十二名で次の担い手の確保するご難儀さを

思いますと退任を手放して喜ばない心境になりました。昼食を交えての座談会では、保護司としてそれぞれが、様々なケースに向き合ってきたこと。



退任保護司感謝状等伝達式及び座談会

立ち直りには、保護司のみならず多くの方々の支える社会の仕組みが充実してきたことが分かったこと。サポセンの立ち上げから設置までの苦労したこと。更に利用され、親しまれる場になることを望む等有意義な話がありました。また、コロナ禍の今、サポセンの利用拡大、当事者との面接の在り方、集会の在り方等々問題が出てきており、考えさせられる話もありました。コロナの終息が見えないだけに大変なことだと痛感した座談会でした。

企画調整保護司会議でのサポセン運営や保護司の確保に関する事等の協議、定期駐在や保護観察対象者の面接、各部会、保護司間や他の保護司会、更には更生保護女性の会との交流や関係機関との協議の場となってきました。

「本荘地区サポセン無事移転!!」

本荘地区保護サポートセンター(以下サポセン)は、本年七月二日より左記に移転しました。

〒〇一八〇六〇四  
由利本荘市西目町沼田字新道下一五三三 西目公民館 シーガル内  
TEL 〇一八四一三三三三九九一  
FAX 〇一八四一七四一六二〇〇

当サポセンは、市のご理解・ご協力により平成二十六年十月に西目保健センターに開設、以来今日まで十四名の企画調整保護司(現在は十二名)によって保護司会の運営支援を主としながらも、毎月開催の



こうした中、市より建物の老朽化や維持管理の面で移転して頂くかもしれないとの連絡を受けその対応について、市の所管と協議を進めてきました。保護司会としては、本荘保護区の地形、範囲からして現在地がほぼ中央でも駅から近いことからこの地が最適と考えていたことや、定例研修の会場にしている事などから、サポセンの目の前にある西目公民館「シーガル」の一室を考えると要望してきました。結果、由利本荘市のご理解・ご配慮により移転先や施設借料、維持管理費等要望どおり受け入れて頂き、七月一日無事移転できました。新サポセンは、四十五九平方メートルと前の二倍の広さを有し、事務・応接・小会議(対象者の面接)の三スペースを確保でき、懸案だった更女の会や雇用主会の事務所機能も可能になりました。素晴らしいサポセンを提供して頂いた由利本荘市のご配慮・ご協力に改めて感謝しつつ、更生保護活動の拠点として環境に負けない活動をと、気を引き締めて努めて行きたいと思っております。

栄誉に輝く  
叙勲・褒章

春の叙勲・褒章

(令和二年四月二十九日)

令和二年度春の叙勲及び褒章を受けられました。

永年の御功労・御功績により受章されました皆様からお祝いを申し上げます。(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



柳 沢 和 子  
(秋田保護区)

藍綬褒章

(更生保護功績)



田 口 久 子  
(秋田保護区)

更生保護以外の功労・功績

瑞宝双光章

(教育功労)

中川 節子(秋田県更生保護女性連盟副会長)

瑞宝単光章

(消防功労)

平良木 保 (横手地区保護司)

藍綬褒章

(調停委員功績)

泉川 静子 (横手地区保護司)

叙位

従六位(令和二年五月十九日付)

高山 英夫(元北秋田地区保護司)

保護司の異動

依願解嘱

(敬称略)

(令和2年1月31日付)

若松 謙 三(大 曲)

(令和2年2月29日付)

渡 邊 アヤ子(潟上湖東)

(令和2年3月31日付)

加 沢 哲(秋田(臨港))

任期満了(令和2年6月30日)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。(敬称略)

地主 重子(秋田(東))

大 淵 勇(秋田(臨港))

佐々木 征満(能代)

島 山 榮子(能代)

今 井 東長(能代)

佐 藤 進一(北秋田)

伊 藤 志津子(本荘)

高 橋 幹夫(横手)

松 下 康 央(湯沢)

佐々木 宮 廣(大曲)

高 橋 庄 康(大曲)

高 橋 克 子(角館)

新任(令和2年7月1日付)

次の方々が委嘱されました。よろしくお願ひします。今後の御活躍に期待します。(敬称略)

小 西 孝 宏(秋田(東))

嵯 峨 恒 子(秋田(東))

佐々木 寿 子(秋田(中央))

- 笹原 淳子(秋田(中央))
遠藤 善衛(秋田(中央))
富野 和巳(秋田(中央))
米内 満政(秋田(中央))
白岩 実(秋田(臨港))
雄鹿 成子(能代)
平澤 卓也(能代)
後藤 瑞穂(能代)
袴田 芳子(大曲)
五十嵐 正隆(大曲)
青柳 隆(大曲)
伊藤 康栄(大曲)
長岡 出雲(大曲)
畑山 玲子(本荘)
植岡 一英(本荘)
伊藤 義之(大曲)
草薨 喜勝(大曲)
尾形 憲一(大曲)
伊藤 啓資(大曲)
佐川 浩資(大曲)
松田 博氏(角館)

おこやみ

- 堀川 勝裕(秋田(中央))
令和2年4月7日享年62
鈴木 國雄(大 館)
令和2年7月2日享年77
保坂 常弘(秋田(臨港))
令和2年7月6日享年76

新型コロナウイルス感染症によって様々な影響がでています。未だに歯止めのかからない感染状況にありますが、「日も早い終息を願ひ、いつもの生活に戻れますように。」

編集後記

心の掃除 作務衣について

「掃けば散り散り手はまたも降り積もる庭の落ち葉も人の心も」という道歌がありますが、お掃除は禅寺の修行であります。それは昔中国に百丈禪師という和尚様がおられ、毎朝坐禅の修行と勤行が終わった後、修行僧の先頭に立つて、庭の掃除をなされるのでした。百丈禪師がお年をとって、ご苦労ですから私たちがやりますからと申し上げてもやめられませんでした。修行僧が心配して禪師の箒を隠してしまいました。すると禪師は部屋に戻られ一日中食事を食べられなかったので、侍僧が「お体の加減でも悪いのですか」と伺いますと、禪師は「日作さざれば一日喰らわず」と答えられました。これが禅の修行の規律となつて、偉い和尚さまからお小僧さままで一緒に掃除をする「作務」という修行となり、作務衣という禅僧の仕事着となつたようです。

お掃除をされると心もきれいになるきれいに掃除をして お客さまを迎えよう 見えないところもきれいにすると 自分を磨く人になれる 美しい日本を お掃除をしてもっと美しくしよう みんなでお掃除をして 青い地球を大切にしよう 櫻田 元宏

編集委員

- 櫻田 元宏(編集委員長)
加賀谷文秋 新野 建臣
北林 暢子 伊藤 妙子
島山 清寿 金森 直子
菊地 皆美